

現在は物理的に適切な土地がなく、すぐに解決することが困難な状況である。東口広場充実の

日本共産党足立区議団

物価高騰・災害から、命と暮らしを守る対策を求める



日本共産党

横田 ゆう 議員



企業団体献金への区長の姿勢は

【問】「裏金事件」に端を発した政治と金のあり方が大きな問題となっており、金の力で政治を動かそうとする利権政治そのものである。区長はパーティー券を含めた企業団体献金についてどのような立場に立つのか。

【区長】かつて都議会議員として政治活動を行った経験から、地域回りや様々な会合への出席にあたってお金がかかる実感があり、廃止と決めつけるのは現実的ではないと考えている。

ただし、存続するとしても、国民が求める透明性や説明責任については納得しているため、今後も制度構築に向けて議論が継続することを期待している。

地震による液状化の対策強化を

【問】日本共産党区議団は、能登半島地震の被災地である輪島市と羽咋市で支援活動を行ってきた。特に液状化の被害の大きい羽咋市の状況を見ると、早期復興や在宅避難等の観点から、耐震対策と同時に液状化対策を進める必要がある。区は、能登半島地震を踏まえ、地域防災計画を見直すとしているが、液状化対策を強化すべきではないか。

【建築】木造2階建て住宅等の

ため、中長期的視点に立ち、それぞれの視点でどのような方策が考えられるか検討していく。

大する予定であり、設置要件等を整備した上で、ドラッグストアや個人商店、介護施設等についても順次参加を募っていく。

民間賃貸住宅の家賃補助制度を

【問】東京23区中13区が民間賃貸住宅居住世帯に、家賃や初期費用の補助を行っている。足立区も高い家賃に苦しむ区民への助成に踏み出すべきではないか。

【建築】区は、ボトルネック的課題である子どもの貧困対策として、ひとり親世帯及び児童養護施設退所者世帯へ住宅セーフティネット制度を利用した家賃補助を行っている。足立区は23区の中で家賃水準が低い現状にあることから、今以上の家賃補助制度を設ける考えはない。

交通権を理念の中心にした計画を



「涼み処」の拡大で熱中症対策を

【問】区は、令和5年第3回定例会で「涼み処」について、「民間施設の拡大については研究する」と答弁したが、スーパーやドラッグストア、個人商店、介護施設等と呼びかけ、早急に拡大すべきではないか。

【衛生】まずはスーパー等に拡

子どもたちの笑顔が輝く学校生活を実現させよう!!

日本共産党 西の原 ゆま 議員



日本共産党

西の原 ゆま 議員



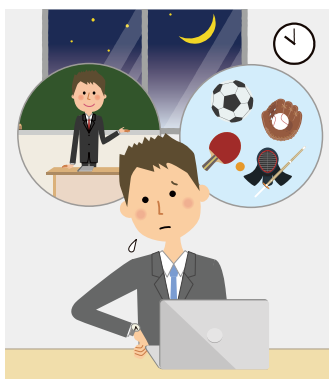
教員にも健康に働くための権利を

【問】深刻化する教員の長時間過密労働と教員不足は、解決しなければならぬ社会問題となっ

と共に自分も成長したい」等の想いはあったが、様々な業務に忙殺される学校生活では、同僚たちの病気による休職や離職が後を絶たなかった。

令和5年度、超過勤務時間が過労死ラインの月80時間を超える教員が66名、月100時間を超える教員が22名に上ったが、教員が長時間労働をしよう原因を説明すべきではないか。

【学校運営】長時間超過勤務を行っている対象者の学校長等に行っている対策の学校長等に行っている対策について聞き取りを行い、原因の解明を行っていく。



地域の声を反映した交通計画へ

【問】交通不便を解消し、より良い地域交通にするために「デマンド交通を考える会」が発足した。その中で、住民からの要望がある場合は、団地や町丁目ごとに説明会を開き、幅広く丁寧な説明をすることを区に要望してきたが、その後はどうか。

【交通対策】計画に関わる全ての関係者が連携して持続可能な輸送サービスを確保していく取り組みが計画の主であり、交通権を理念の中心に据えた計画の策定は考えていない。

【交通対策】令和6年6月7日に押皿谷住区センター、同月8日に鹿浜いきいき館で説明会を開催し、2日間合計で約80名の区民が参加した。

本格運行への移行は、①一日の利用件数、②既存公共交通機関への影響、③継続意思を示すタクシー事業者数、④利用者の満足度の4つの指標を総合的に勘案しながら判断していく。

都民ファースト・無所属の会

誰もがより暮らしやすい足立区へ向けて



都ファ・無所属

川村 みこと 議員



丁寧な案内で待機待ち時間減少を

【問】区の窓口における待ち時間は、二次元コードを読み込むことで確認できるが、庁内のどこで過ごせばよいか分からない。展望レストランやアトリウム等の待つことのできる場所について案内を掲示する等、来庁者の体感待ち時間減少のための取り組みを行ってみてはどうか。

【区民】まずは、展望レストラン等の案内掲示について早急に対応していく。

配慮が必要な方への思いやりを

【問】車いす利用者だけでなく、配慮が必要な人が利用できる「思いやり駐車場」の表示を区有施設で統一すべく、路面に印字する等の取り組みを、まずは本庁舎で実施してはどうか。

【工藤副区長】車いす用駐車場を本庁舎内に設置し、妊婦や高齢者等の歩行が困難な人も利用可能となっているが、現状の掲示だけでは気づきにくいいため、本庁舎から率先してわかりやすい掲示等に改善していく。



良い思い出の運動会をするために

【問】全ての学校の児童・生徒にとつて安心・安全な運動会となるよう、熱中症対策に特化した予算措置や対策を行う必要があると考えるがどうか。

【学校運営】各校により状況が異なるため、物品の配備状況等を調査すると共に、学校現場の意見を聴き、必要性について検討した上で予算措置を行う。

綾瀬駅西口のイメージ刷新を!

【問】綾瀬駅西口は「あやセンターぐるぐる」の効果もあり

足立区議会立憲民主党

誰もが住み続けたい魅力と安心のある未来の足立区へ



立憲民主党

銀川 ゆい子 議員



区長の政治姿勢を伺う

【問】近藤区長を政治家・女性として尊敬し憧れており、政治姿勢や人柄を間近で見ることができたことは、人生の宝物である。区長が政治家として大切にしていることや、人生の指針としているものは何か伺う。

【区長】平成9年の都議会議員選挙立候補時のキャッチフレーズは「心の政治・信頼を形に」であり、一票を投じていただいた人に何か形にして応えたいと

イメージが大きく改善されている一方、高架下の暗いイメージも残っている。鉄道各社やバス事業者、大学等と連携して、高架の橋りょうにアートを施す等更に明るく美しいまちにし、体感治安の向上や暗いというイメージの払拭を図ってはどうか伺う。

【工藤副区長】本年1月に実施した意識調査では、鉄道高架下に「あやセンターぐるぐる」やおしゃれなカフェができたことで肯定的な意見もあった。引き続き、関係者と協議を重ねると共に、まちづくり協議会など地域の意見を聴きながら、例えば高架下の照明の照度アップやアートの施工等、具体的な取り組みを本年12月を目途に検討・調整していく。JR東日本や東京メトロの協力も得ながら、できるところから実施していく。

【問】区を更に魅力あるまちとするためには、幼児から高齢者まで住んでいるだけで英語に触れあえる環境づくりを進める必要があるが、今後の決意を伺う。

【政策経営】小・中学校での英語教育の推進や、大学と連携し